

資料編

■ 家島航路の利便性向上に関するアンケート調査

ここでは、平成 28 年 11 月に姫路市が実施したアンケート調査に関する次の資料を参考資料として示す。

なお、アンケート調査の位置づけおよび実施概要について、本報告書 p16～p17 に示している。

また、アンケート調査の集計結果は、本調査との情報共有のため、姫路市が作成したものを掲載するものである。

1. お願い状およびアンケート調査票

(1) 家島（真浦、宮）の世帯に配布

- ① 家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査のお願い（家島用）
- ② アンケート調査の実施にあたって（①の裏面に印刷）
- ③ 家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査（家島用）

(2) 坊勢島の世帯に配布

- ① 家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査のお願い（坊勢島用）
- ② アンケート調査の実施にあたって（①の裏面に印刷）
- ③ 家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査（坊勢島用）

2. アンケート調査の集計結果

家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査のお願い

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、姫路市では、都市局交通計画室において姫路港～家島・坊勢島航路の利便性向上に関する検討を進めています。その参考資料を得るため、家島および坊勢島にお住まいの方にアンケート調査を実施することとなりました。

ご多用中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力下さいますよう、お願いいたします。

- アンケート調査には、ご家族の代表者が回答して下さい。
- アンケートに回答される前に本紙の裏面をよくお読みいただき、ご回答いただくようお願いいたします。

ご記入いただいたアンケート票は、この用紙が入っていた封筒に入れて
11月9日に回収にお伺いする婦人会の方へお渡し下さい。

ご記入いただいた内容は全て統計的に処理し、個別に公表することはありません。また、ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、他に用いることは一切ありません。

調査実施主体：姫路市都市局交通計画室

アンケート調査の実施にあたって

姫路市では、家島諸島の生活や経済活動にとって、定期航路は不可欠の交通手段であると考えており、その利便性向上のための具体策の検討や経営の効率化に取り組んでいます。

このアンケート調査では、以下に示す利用者のご意見や航路事業者の経営状況を踏まえつつ、共通定期券などの利便性向上のための具体的な方法を検討するため、家島・坊勢島にお住まいの皆様のご意見をお聞きするものです。

- 航路事業者の経営は厳しい環境にあり、家島・坊勢島～姫路の航路では、100円の収入を得るために110円の費用がかかっています(直近の決算・4社計)。

※姫路市が航路事業者の協力を得て提供を受けた資料に基づくもの

運賃に照らして考えると・・・

- 昨年末に国が航路の利用者を対象に実施したアンケート調査では、次のことがわかりました。

- ◆ アンケートの自由意見に回答があった445件のうち、106件(約24%)に定期券の共通化を求める意見が記入されていました。

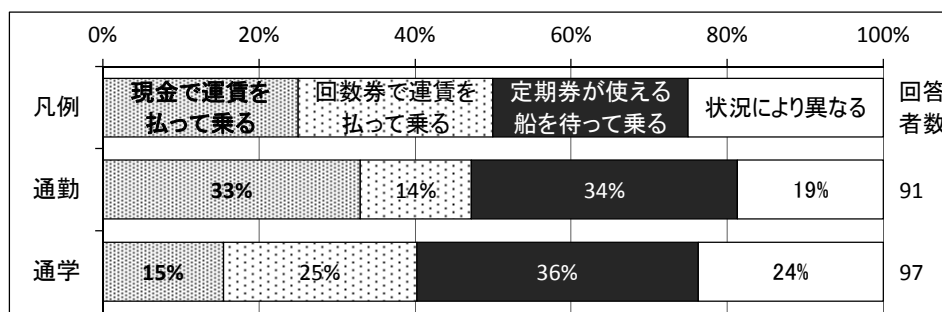
特に、家島～姫路の定期券利用者の方から、多く寄せられました。

＜アンケートの自由意見欄に「定期券の共通化」を求める記述があった件数＞

利用便\券種	現金	回数券	定期券	合計
高速いしま	1	14	20	35
高福ライナー	3	21	18	42
家島～姫路計	4	35	38	77
坊勢汽船	0	8	12	20
輝観光	1	4	4	9
坊勢島～姫路計	1	12	16	29
合計	5	47	54	106

- ◆ 自分の持っている定期券が使える船が来たとき、お金や回数券で運賃を払ってその船に乗るといった人が通勤利用者の47%、通学利用者の40%に及びました。

＜「定期券が使える方の船が来た時、どのようにしますか」に対する回答状況＞



家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査（家島用）

■ はじめに、あなたの世帯のことについてお尋ねします。

問1 住所はどちらですか。（○は一つだけ）

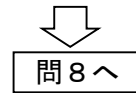
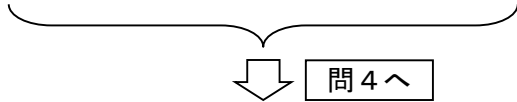
1. 真浦 2. 宮

問2 ご家族の人数は何人ですか。

（ ）人家族

問3 ご家族に、普段の生活で家島航路を利用している人は何人おられますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 誰も利用していない



問4 ご家族の中に、次にあてはまる人は何人おられますか？（○はそれぞれ一つずつ）

- 1) 「高速いえしま」の通勤定期券を持っている人 …… 1人 2人 3人以上 いない
2) 「高速いえしま」の通学定期券を持っている人 …… 1人 2人 3人以上 いない
3) 「高福ライナー」の通勤定期券を持っている人 …… 1人 2人 3人以上 いない
4) 「高福ライナー」の通学定期券を持っている人 …… 1人 2人 3人以上 いない

問5 あなたの世帯では「高速いえしま」または「高福ライナー」の回数券を持っていますか？

あてはまるものに○をつけて下さい。（○はいくつでも）

1. 我が家では回数券は持っていない。回数券は誰も購入していない。
2. 回数券を使う家族は一人だけで、その人が回数券を持っている。
3. 回数券を使う家族は複数おり、回数券を使う人がめいめい、回数券を購入している。
4. 回数券を使う家族は複数おり、世帯でまとめて回数券を購入し、家族で分けて使っている。
5. その他（ ）

■ 平成27年度に国土交通省が家島の住民や家島航路の利用者に対して実施したアンケート調査では、

「1枚の定期券で高速いえしま・高福ライナーのどちらも乗船できる共通定期券を発行してほしい」という意見が多数寄せられました。これに関連して、次の質問に答えて下さい。

問6 定期券を持っている家族がおられる世帯のみお答え下さい。

(1) 定期券を持っているご家族が家島航路を利用するとき、あなたの世帯ではどのようにされていますか？ 以下の各項目についてお答え下さい。（○はそれぞれ一つずつ）

- | | | |
|---|----------|------------|
| 1) 通勤・通学で姫路に行くときは定期券を持っている船を使う | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| 2) 私用で姫路に行くときも定期券を持っている船を使う | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| 3) 勤務先・学校から家島に帰宅するときは、定期券を持っている船の時間に合わせて帰るようにしている | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| 4) 勤務先・学校から家島に帰宅するとき、定期券が使える・使えないに関わらず、姫路港で最初に来た船に乗るようにしている | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| 5) 勤務先・学校から家島に帰宅するとき、急ぐ時や夜遅い時などを除き、なるべく定期券が使える船を待つようにしている | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |
| 6) 定期券が使えない船を利用するため回数券をいつも持っている | 1. あてはまる | 2. あてはまらない |

- (2) あなたの世帯では、定期券が使えない船を利用する機会が、1ヶ月間で何回くらいありますか。
2人以上定期券を持っている人がいる場合は、1人当たりの平均でお答え下さい。(○は一つだけ)
1. ほとんどない 2. 月に1~2回 3. 月に3~5回 4. 月に6~10回 5. それ以上 6. わからない

問7 定期券または回数券を持っている世帯がお答え下さい。

- (1) もし、通勤の共通定期券が発行されるとしたら、1ヶ月定期で最高いくらまでなら購入してもよいと思いますか?あてはまるものに○をつけ、() 内も記入して下さい。(○は一つだけ)

※現在の通勤定期券は、大人・1ヶ月 32,000 円程度と考えてお答え下さい。

1. 最高 () 円までなら、共通定期券を購入してもよい。 2. わからない
3. わが家には通勤定期券の利用者がいない

- (2) もし、通学の共通定期券が発行されるとしたら、1ヶ月定期で最高いくらまでなら購入してもよいと思いますか?あてはまるものに○をつけ、() 内も記入して下さい。(○は一つだけ)

※現在の通学定期券は、中学生・高校生・1ヶ月 15,000 円程度と考えてお答え下さい。

1. 最高 () 円までなら、共通定期券を購入してもよい。 2. わからない
3. わが家には通学定期券の利用者がいない

- (3) 共通定期券の導入には様々な課題があります。共通定期券に代わる以下の方法について、どのように考えられますか? (○はそれぞれ一つずつ)

- 1) 両方の船で使え、枚数は多いが有効期間が短く、割引率の高い回数券の導入

(例: 1ヶ月有効で20~30枚綴り、中・高校生限定、一般の回数券より割安、通学定期より割高)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う 2. そうは思わない 3. わからない

- 2) 他社の定期券を持っている人だけ利用できる割安な回数券の導入

(例: 高速いえしまの定期券を見せれば高福ライナーで利用できる割安な回数券の発売)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う 2. そうは思わない 3. わからない

- 3) 後払い式のICカードによる利用回数に応じた割引

(例: 両方の船で利用可、船会社ごとに精算、利用回数が多くなれば割引率が高くなる方式)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う 2. そうは思わない 3. わからない

■ みなさんお答え下さい。

- 問8 家島航路の利便性を向上させるための方法について、日頃から考えておられることがあれば、自由に記述して下さい。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は封筒に入れ、11月9日に回収にお伺いする婦人会の方へお渡し下さい。

家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査のお願い

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、姫路市では、都市局交通計画室において姫路港～家島・坊勢島航路の利便性向上に関する検討を進めています。その参考資料を得るため、家島および坊勢島にお住まいの方にアンケート調査を実施することとなりました。

ご多用中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力下さいますよう、お願いいたします。

- アンケート調査には、ご家族の代表者が回答して下さい。
- アンケートに回答される前に本紙の裏面をよくお読みいただき、ご回答いただくようお願いいたします。

ご記入いただいたアンケート票は **11月7日頃**に回収しますので、この用紙が入っていた封筒に入れて、玄関の分かりやすい所に出しておいて下さい。

ご記入いただいた内容は全て統計的に処理し、個別に公表することはありません。また、ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、他に用いることは一切ありません。

調査実施主体：姫路市都市局交通計画室

アンケート調査の実施にあたって

姫路市では、家島諸島の生活や経済活動にとって、定期航路は不可欠の交通手段であると考えており、その利便性向上のための具体策の検討や経営の効率化に取り組んでいます。

このアンケート調査では、以下に示す利用者のご意見や航路事業者の経営状況を踏まえつつ、共通定期券などの利便性向上のための具体的な方法を検討するため、家島・坊勢島にお住まいの皆様のご意見をお聞きするものです。

- 航路事業者の経営は厳しい環境にあり、家島・坊勢島～姫路の航路では、100円の収入を得るために110円の費用がかかっています(直近の決算・4社計)。

※姫路市が航路事業者の協力を得て提供を受けた資料に基づくもの

運賃に照らして考えると・・・

- 昨年末に国が航路の利用者を対象に実施したアンケート調査では、次のことがわかりました。

- ◆ アンケートの自由意見に回答があった445件のうち、106件(約24%)に定期券の共通化を求める意見が記入されていました。

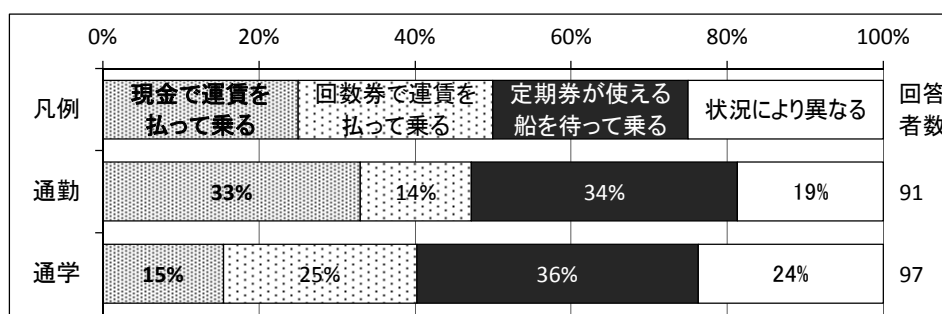
特に、家島～姫路の定期券利用者の方から、多く寄せられました。

＜アンケートの自由意見欄に「定期券の共通化」を求める記述があった件数＞

利用便\券種	現金	回数券	定期券	合計
高速いしま	1	14	20	35
高福ライナー	3	21	18	42
家島～姫路計	4	35	38	77
坊勢汽船	0	8	12	20
輝観光	1	4	4	9
坊勢島～姫路計	1	12	16	29
合計	5	47	54	106

- ◆ 自分の持っている定期券が使えない船が来たとき、お金や回数券で運賃を払ってその船に乗るといった人が通勤利用者の47%、通学利用者の40%に及びました。

＜「定期券が使えない方の船が来た時、どのようにしますか」に対する回答状況＞



家島諸島航路の利便性向上に関するアンケート調査（坊勢島用）

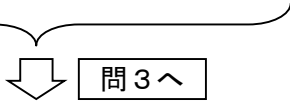
■ はじめに、あなたの世帯のことについてお尋ねします。

問1 ご家族の人数は何人ですか。

（ ）人家族

問2 ご家族に、普段の生活で坊勢～姫路間の航路を利用している人は何人おられますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 誰も利用していない



問3 ご家族の中に、次にあてはまる人は何人おられますか？（○はそれぞれ一つずつ）

- | | | | | |
|--------------------------------------|----|----|------|-----|
| 1) 「坊勢汽船」の <u>通勤</u> 定期券を持っている人…………… | 1人 | 2人 | 3人以上 | いない |
| 2) 「坊勢汽船」の <u>通学</u> 定期券を持っている人…………… | 1人 | 2人 | 3人以上 | いない |
| 3) 「輝観光」の <u>通勤</u> 定期券を持っている人…………… | 1人 | 2人 | 3人以上 | いない |
| 4) 「輝観光」の <u>通学</u> 定期券を持っている人…………… | 1人 | 2人 | 3人以上 | いない |

問4 あなたの世帯では「坊勢汽船」または「輝観光」の回数券を持っていますか？

あてはまるものに○をつけて下さい。（○はいくつでも）

1. 我が家では回数券は持っていない。回数券は誰も購入していない。
2. 回数券を使う家族は一人だけで、その人が回数券を持っている。
3. 回数券を使う家族は複数おり、回数券を使う人がめいめい、回数券を購入している。
4. 回数券を使う家族は複数おり、世帯でまとめて回数券を購入し、家族で分けて使っている。
5. その他（ ）

■ 平成27年度に国土交通省が坊勢島の住民や坊勢～姫路間の航路の利用者に対して実施したアンケート調査では、「1枚の定期券で坊勢汽船・輝観光のどちらも乗船できる共通定期券を発行してほしい」という意見が多数寄せられました。これに関連して、次の質問に答えて下さい。

問5 定期券を持っている家族がおられる世帯のみお答え下さい。

（1）定期券を持っているご家族が坊勢～姫路間の航路を利用するとき、あなたの世帯ではどのようにされていますか？ 以下の各項目についてお答え下さい。（○はそれぞれ一つずつ）

- | | | |
|---|----------------|----------------|
| 1) 通勤・通学で姫路に行くときは定期券を持っている船を使う | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |
| 2) 私用で姫路に行くときも定期券を持っている船を使う | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |
| 3) 勤務先・学校から坊勢島に帰宅するときは、定期券を持っている船の時間に合わせて帰るようにしている | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |
| 4) 勤務先・学校から坊勢島に帰宅するときは、定期券が使える・使えないに関わらず、姫路港で最初に来た船に乗るようにしている | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |
| 5) 勤務先・学校から坊勢島に帰宅するときは、急ぐ時や夜遅い時などを除き、なるべく定期券が使える船を待つようにしている | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |
| 6) 定期券が使えない船を利用するため回数券をいつも持っている | 1. あてはまる
ない | 2. あてはまら
ない |

- (2) あなたの世帯では、定期券が使えない船を利用する機会が、1ヶ月間で何回くらいありますか。
2人以上定期券を持っている人がいる場合は、1人当たりの平均でお答え下さい。(○は一つだけ)
1. ほとんどない
 2. 月に1~2回
 3. 月に3~5回
 4. 月に6~10回
 5. それ以上
 6. わからない

問6 定期券または回数券を持っている世帯がお答え下さい。

- (1) もし、通勤の共通定期券が発行されるとしたら、1ヶ月定期で最高いくらまでなら購入してもよいと思いますか？あてはまるものに○をつけ、() 内も記入して下さい。(○は一つだけ)

※現在の坊勢~姫路間の通勤定期券は、大人・1ヶ月 30,000円または36,720円(運航会社により異なる)と考えてお答え下さい。

1. 最高()円までなら、共通定期券を購入してもよい。
2. わからない
3. わが家には通勤定期券の利用者がいない

- (2) もし、通学の共通定期券が発行されるとしたら、1ヶ月定期で最高いくらまでなら購入してもよいと思いますか？あてはまるものに○をつけ、() 内も記入して下さい。(○は一つだけ)

※現在の坊勢~姫路間の通学定期券は、中学生・高校生・1ヶ月 24,000円と考えてお答え下さい。

1. 最高()円までなら、共通定期券を購入してもよい。
2. わからない
3. わが家には通学定期券の利用者がいない

- (3) 共通定期券の導入には様々な課題があります。共通定期券に代わる以下の方法について、どのように考えられますか？(○はそれぞれ一つずつ)

- 1) 両方の船で使え、枚数は多いが有効期間が短く、割引率の高い回数券の導入

(例：1ヶ月有効で20~30枚綴り、中・高校生限定、一般の回数券より割安、通学定期より割高)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う
2. そうは思わない
3. わからない

- 2) 他社の定期券を持っている人だけ利用できる割安な回数券の導入

(例：坊勢汽船の定期券を見せれば輝観光で利用できる割安な回数券の発売)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う
2. そうは思わない
3. わからない

- 3) 後払い式のICカードによる利用回数に応じた割引

(例：両方の船で利用可、船会社ごとに精算、利用回数が多くなれば割引率が高くなる方式)

1. 共通定期券に代わる有効な方策だと思う
2. そうは思わない
3. わからない

■ みなさんお答え下さい。

- 問7 坊勢~姫路間の航路の利便性を向上させるための方法について、日頃から考えておられることがあれば、自由に記述して下さい。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は11月7日頃に回収しますので、

調査票が入っていた封筒に入れて、玄関の分かりやすい所に出しておいて下さい。

2. アンケート調査の集計結果

(1) 回答世帯の特性

① 地域別世帯数と世帯人数

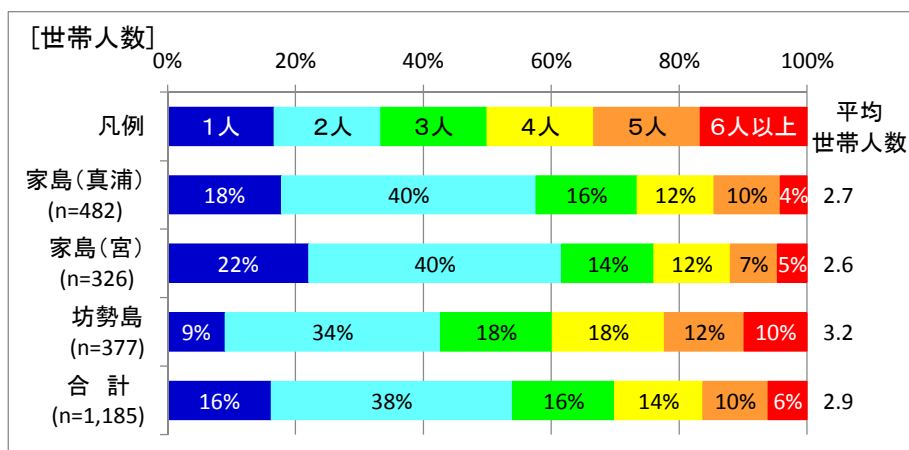
- ・アンケート調査では、真浦 482 世帯、宮 326 世帯、坊勢島 377 世帯、合わせて 1,185 世帯から回答を得た。
- ・回答した世帯の平均世帯人数は、真浦と宮が 2.6～2.7 人であるのに対し、坊勢島は 3.2 人であった。
- ・家島では 2 人世帯が最も多く（真浦・宮、それぞれ 40%）、それに次いで 1 人世帯が多い（真浦 18%、宮 22%）。
- ・坊勢島では家島と同様に 2 人世帯が最も多いが（34%）、次に 3 人世帯と 4 人世帯が多く（共に 18%世帯）、1 人世帯は 9%に留まっている。

表－14 地域別・世帯人数別世帯数

（単位：世帯、ただし世帯人数は人）

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	回答 世帯数	無回答	世帯数 合計	世帯人数	
										合計	平均
家島(真浦)	86	192	76	58	50	20	482	14	496	1,317	2.7
家島(宮)	72	129	47	39	24	15	326	7	333	846	2.6
家島小計	158	321	123	97	74	35	808	21	829	2,163	2.7
坊勢島	34	127	66	66	47	37	377	23	400	1,224	3.2
合計	192	448	189	163	121	72	1,185	44	1,229	3,387	2.9

図－19 地域別・回答世帯の世帯人数構成



② 家島諸島航路利用人数

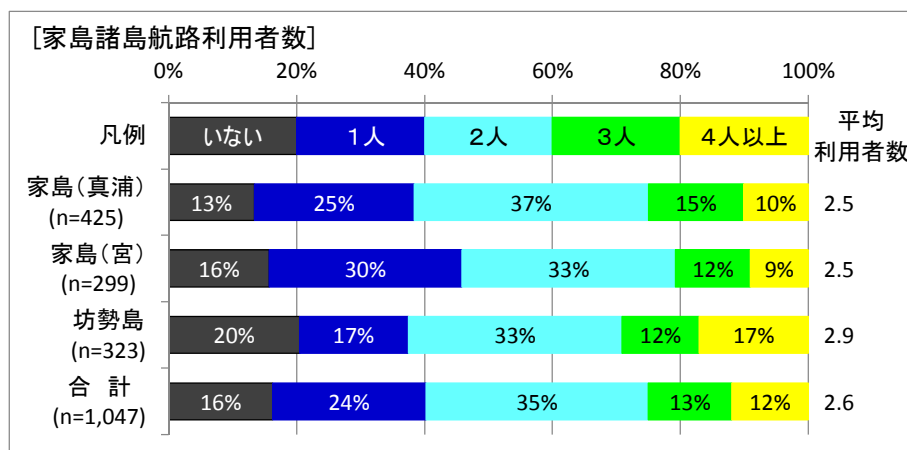
- ・アンケート調査に回答した世帯の家島諸島航路の平均利用者数は、全体で2.6人／世帯であった。地域別には真浦と宮が2.5人／世帯、坊勢島が2.9人／世帯となっている。
- ・いずれの地域でも家島諸島航路の利用者が2人という世帯が最も多い（33～37%）。
- ・家島では次に利用者が1人の世帯が多く（25～30%）、利用者がいない世帯は13～16%である。
- ・坊勢島では利用者がいない世帯が次に多く（20%）、その一方で利用者が4人以上の世帯が17%を占めることが特徴である。これは、坊勢島では世帯人数の多い世帯の割合が高いこと、漁業が盛んな坊勢島では定期航路を利用しなくても漁船などの交通手段が利用できることなどの表れであると推察される。

表－15 地域別・家島諸島航路の利用人数別世帯数

(単位：世帯、ただし家島諸島航路利用人数は人)

	いない	1人	2人	3人	4人以上	回答 世帯数	無回答	世帯数 合計	家島諸島航路利用者数	
									合計	平均
家島(真浦)	57	106	156	63	43	425	71	496	1,064	2.5
家島(宮)	47	90	100	35	27	299	34	333	738	2.5
家島小計	104	196	256	98	70	724	105	829	1,802	2.5
坊勢島	66	55	108	39	55	323	77	400	938	2.9
合計	170	251	364	137	125	1,047	182	1,229	2,740	2.6

図－20 地域別・回答世帯における家島諸島航路利用人数の構成比



③ 定期券保有人数

- ・家島諸島航路の定期券を持っている人がいる世帯は、航路利用者のいる世帯全体の14%である。地域別には、真浦が14%、宮が11%、坊勢島が18%である。（表-16）
- ・家島では高速いえしまの定期券を持っている世帯の方が多い。特に、通学定期券でその傾向が顕著である。
- ・坊勢島では、坊勢汽船の定期券を持っている世帯が多く、輝観光の定期券を持っている世帯は6世帯のみ（いずれも通勤定期）である。

表-16 地域別・定期券保有世帯の割合

(単位:世帯)

	定期券保有者のいる世帯	航路利用者のいる世帯	定期券保有世帯の割合
家島(真浦)	52	368	14%
家島(宮)	28	252	11%
家島小計	80	620	13%
坊勢島	46	257	18%
合計	126	877	14%

表-17 地域別・運航事業者別定期券保有状況

[家島(真浦)]

(単位:世帯、ただし定期券保有者数は人)

	いない	1人	2人	3人以上	回答世帯数	無回答	対象世帯数	定期券保有者数	
								合計	平均
高速いえしま(通勤)	239	14	5	0	258	110	368	24	0.09
高速いえしま(通学)	235	20	4	0	259	109	368	28	0.11
高福ライナー(通勤)	243	9	1	0	253	115	368	11	0.04
高福ライナー(通学)	237	5	0	0	242	126	368	5	0.02

[家島(宮)]

	いない	1人	2人	3人以上	回答世帯数	無回答	対象世帯数	定期券保有者数	
								合計	平均
高速いえしま(通勤)	166	8	0	0	174	78	252	8	0.05
高速いえしま(通学)	161	10	2	0	173	79	252	14	0.08
高福ライナー(通勤)	164	8	0	0	172	80	252	8	0.05
高福ライナー(通学)	162	1	0	0	163	89	252	1	0.01

[坊勢島]

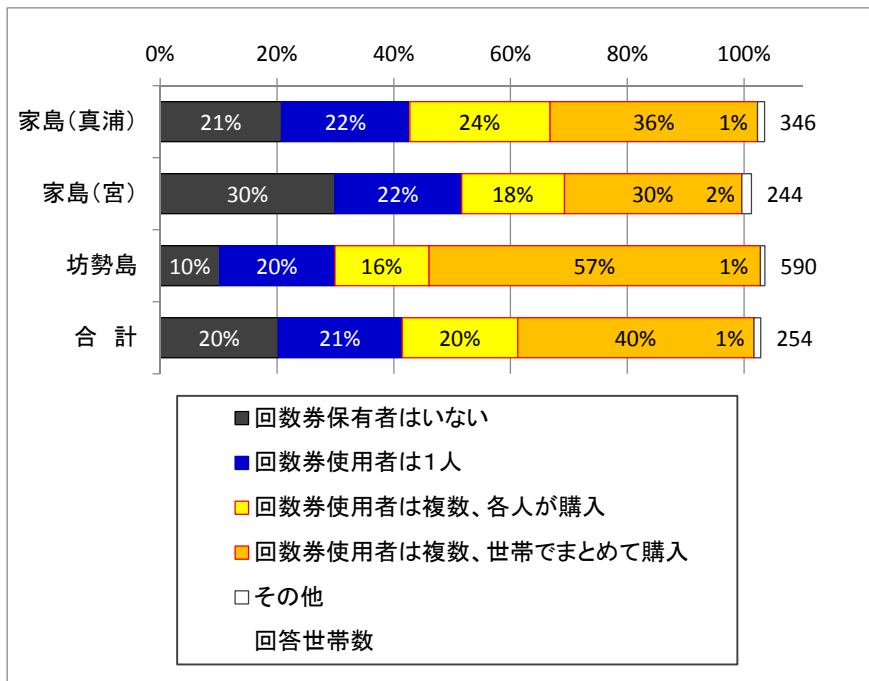
	いない	1人	2人	3人以上	回答世帯数	無回答	対象世帯数	定期券保有者数	
								合計	平均
坊勢汽船(通勤)	195	12	4	1	212	45	257	23	0.11
坊勢汽船(通学)	182	24	3	0	209	48	257	30	0.14
輝観光(通勤)	195	5	1	0	201	56	257	7	0.03
輝観光(通学)	194	0	0	0	194	63	257	0	0.00

注: いずれも家島諸島航路利用者がいる世帯を対象としている。

④ 回数券保有状況

- ・世帯における回数券の保有状況を見ると、回数券の保有者がいない世帯は、家島諸島航路の利用者がいる世帯全体の20%である。地域別には、真浦では21%、宮では30%、坊勢島では10%の世帯が回数券の保有者がいない。
- ・回数券の利用者が世帯に複数おり、世帯でまとめて回数券を購入しているケースが最も多く、全体の40%を占める。地域別には真浦と宮は30~36%であるが、坊勢島では57%に達する。
- ・回数券の利用者が1人の世帯は概ね20%、複数の回数券利用者がおり、それぞれ別個に回数券を購入している世帯は16~24%であった。

図-21 地区別・世帯における回数券の保有者数と購入方法

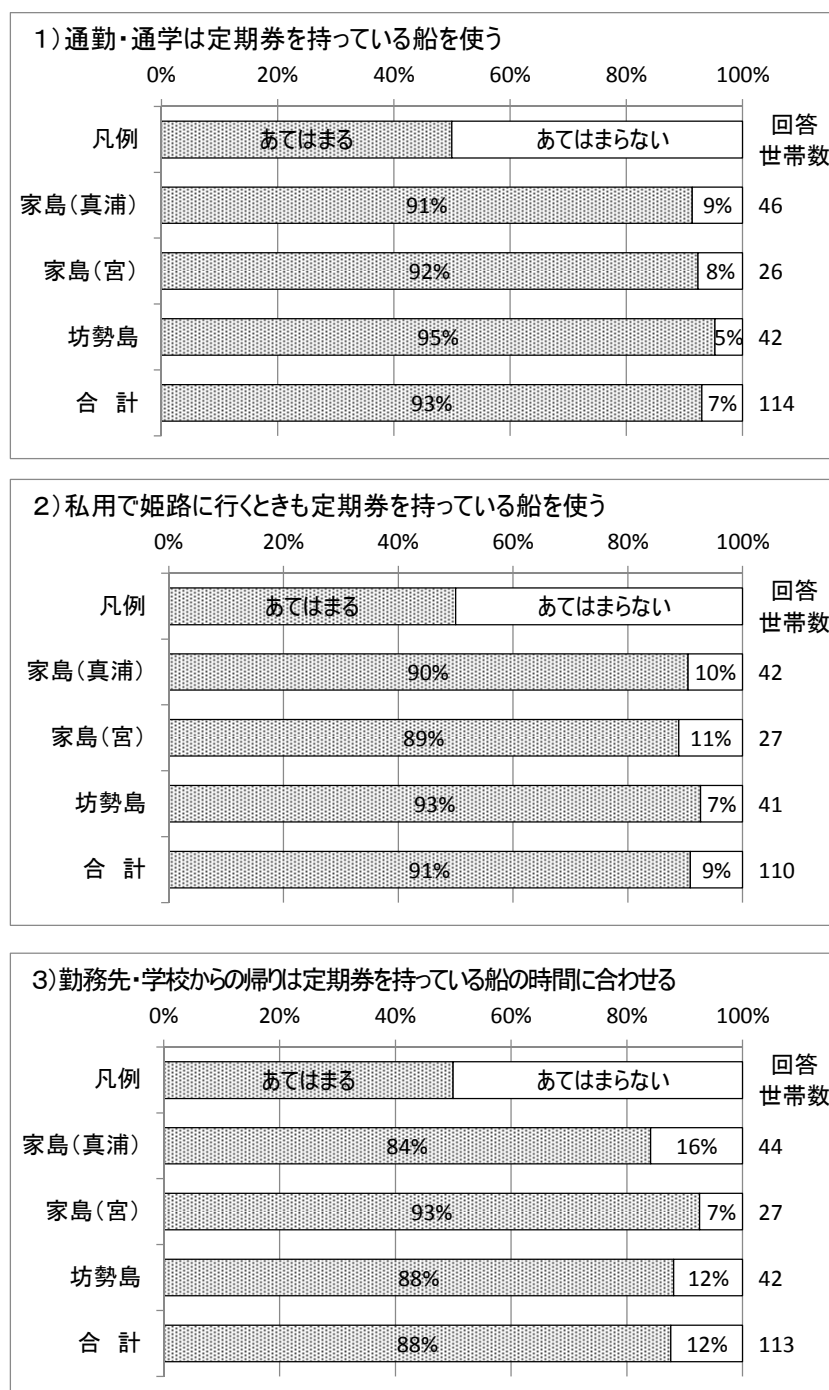


注：家島諸島航路利用者がいる世帯を対象としている。

(2) 定期券保有者の航路利用について

- ・定期券保有者のいる世帯を対象に、定期券が通用しない便の利用などについて尋ねたところ、通勤・通学で姫路に行くときには、全体の93%が定期券の通用する船を利用している。
- ・私用で姫路に行く場合も全体の91%が定期券の通用する船を利用している。
- ・また、勤務先や通学先から帰宅する際、全体の88%が定期券の通用する船の時刻に合わせて帰るようにしている。

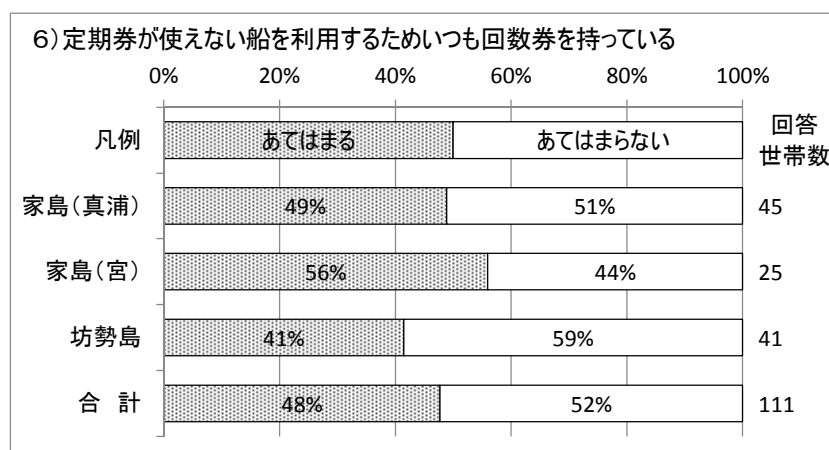
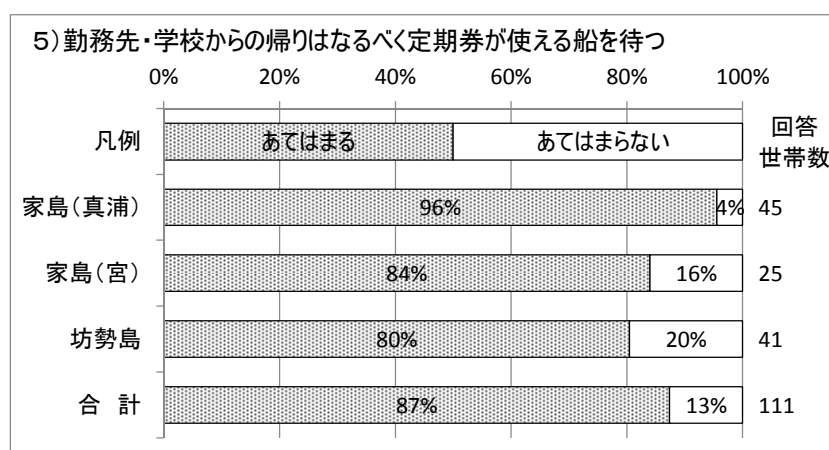
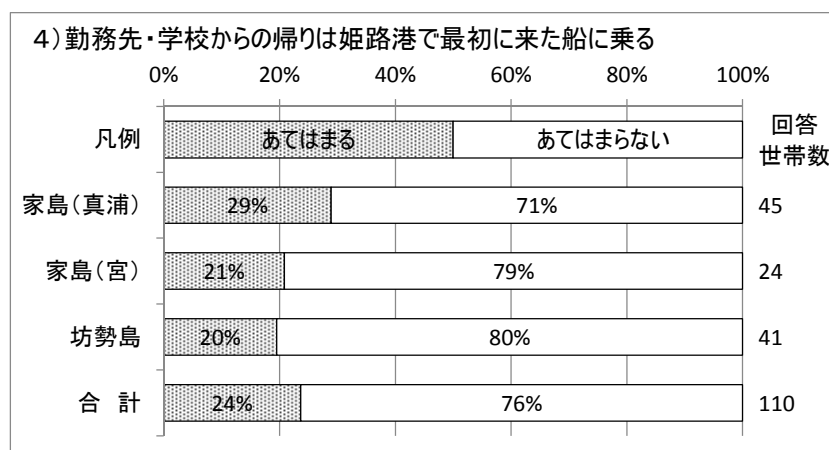
図-22 地域別・定期券が通用しない便への対応（その1）



注：いずれも定期券保有者がいる世帯を対象としている。

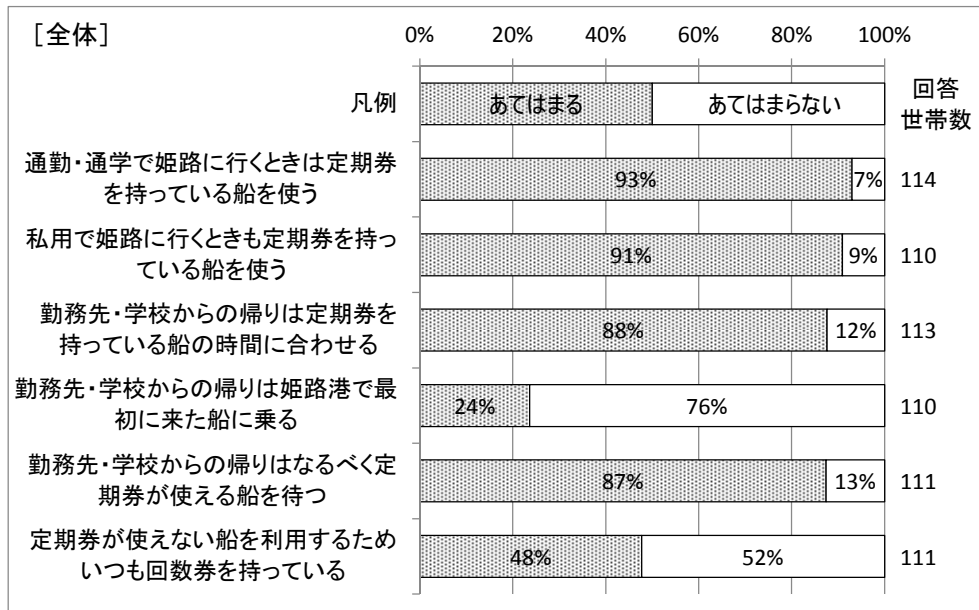
- ・勤務先や通学先から帰宅する際、定期券が通用する／通用しないに関わらず、姫路港で最初に来た船に乗るとするのは全体の 24%に留まり、全体の 87%がなるべく定期券が通用する船を待つと回答している。
- ・また、全体の 48%は定期券が使えない船を利用するため回数券をいつも持っている。
- ・いずれの項目も、地域による差は小さく、同様の傾向を示している。

図-23 地域別・定期券が通用しない便への対応（その2）



注：いずれも定期券保有者がいる世帯を対象としている。

図-24 定期券が通用しない便への対応

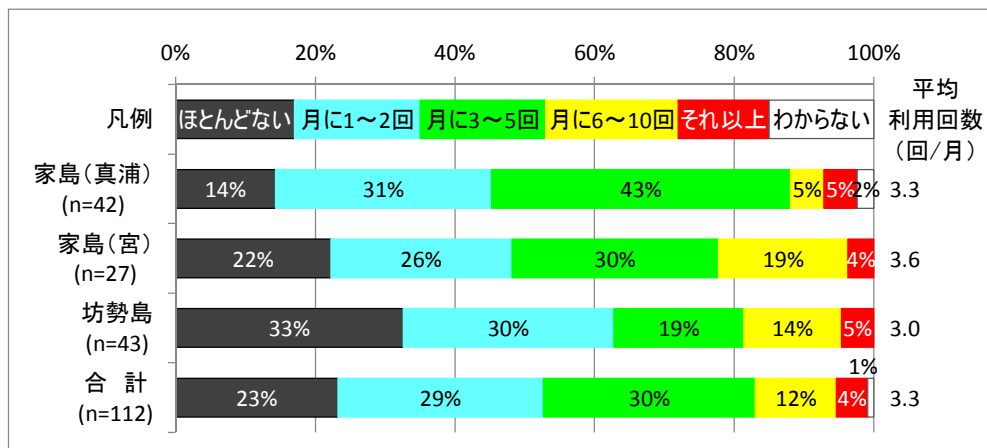


注：定期券保有者がいる世帯を対象としている。

② 定期券が通用しない船の利用頻度

- ・定期券が通用しない船の利用頻度は、全体の平均で3.3回/月であった。
- ・地域別には宮が3.6回/月で最も多く、真浦が3.3回/月、坊勢島が3.0回/月であった。
- ・定期券が通用しない船の利用がほとんどない、すなわち定期券が通用する船を毎回待っているのは全体の23%であった。真浦が14%で最も少なく、宮が22%、坊勢島が33%で最も多かった。

図-25 地区別・定期券が通用しない船の利用頻度（定期券保有者を対象）



(3) 共通定期券の購入について

① 共通定期券（通勤）の購入意向

- ・通勤の共通定期券が発行された場合、購入してもよいと回答したのは、定期券または回数券を保有している世帯の19%であった。わからないとの回答は12%であり、69%は通勤定期券の利用者がいないので判断できないとの回答であった。
- ・地域による回答の差は小さいため、通勤定期券を保有している世帯と保有していない世帯に区分したところ、定期券を保有している世帯の78%は通勤の共通定期券を購入してもよいと回答した。一方、通勤定期券を保有していない世帯では、共通定期券を購入しても良いとの回答は12%に留まった。

図-26 地区別・共通定期券（通勤）の購入意向

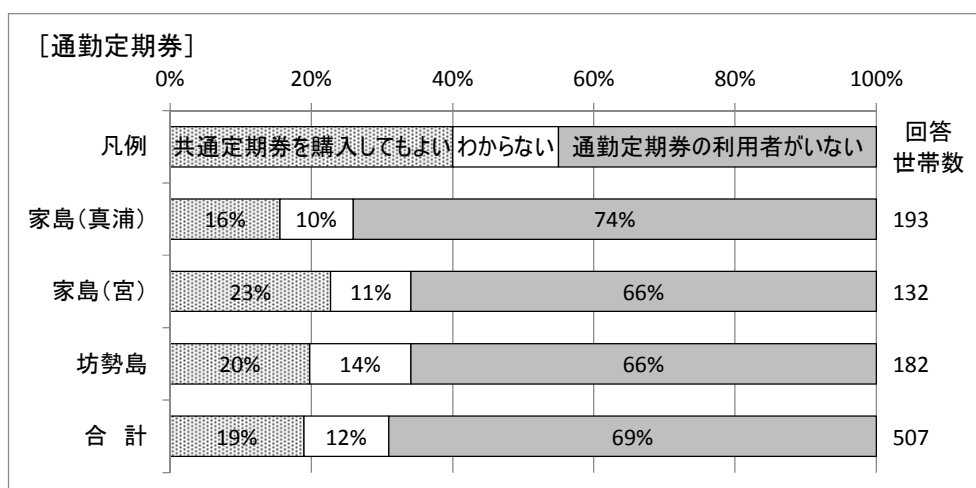
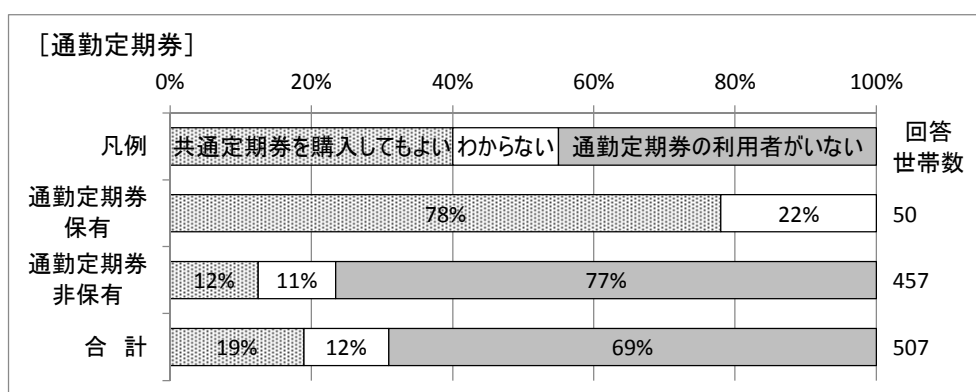


図-27 通勤定期券保有有無別・共通定期券（通勤）の購入意向

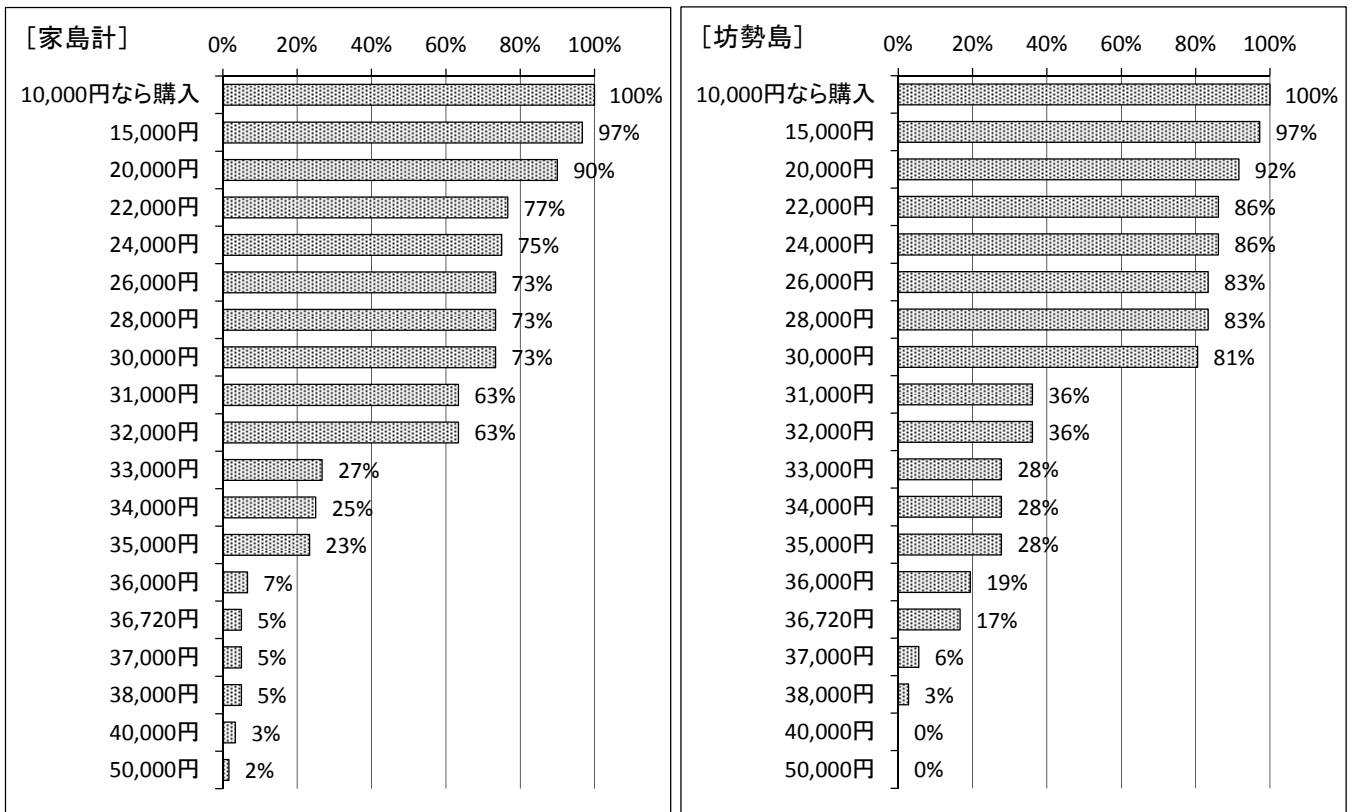


注：いずれも定期券または回数券の保有者がいる世帯を対象。

② 共通定期券（通勤）に対する支払意思額

- ・ 図-28 は通勤の共通定期券に対する支払意思額を表したものである。
- ・ 家島では、現在の定期券の運賃（32,000 円）なら 63%が購入してもよいと回答しているが、それを上回る金額では購入してもよいとの回答は激減する。35,000 円を超える回答は数%に留まる。
- ・ 坊勢島では、現在の坊勢汽船の定期運賃（30,000 円）なら 81%が購入してもよいと回答しているが、それを超えると 36%にまで減少し、輝観光の定期運賃（36,720 円）なら購入してもよいとの回答は 17%となる。

図-28 地区別・共通定期券（通勤）に対する支払意思額

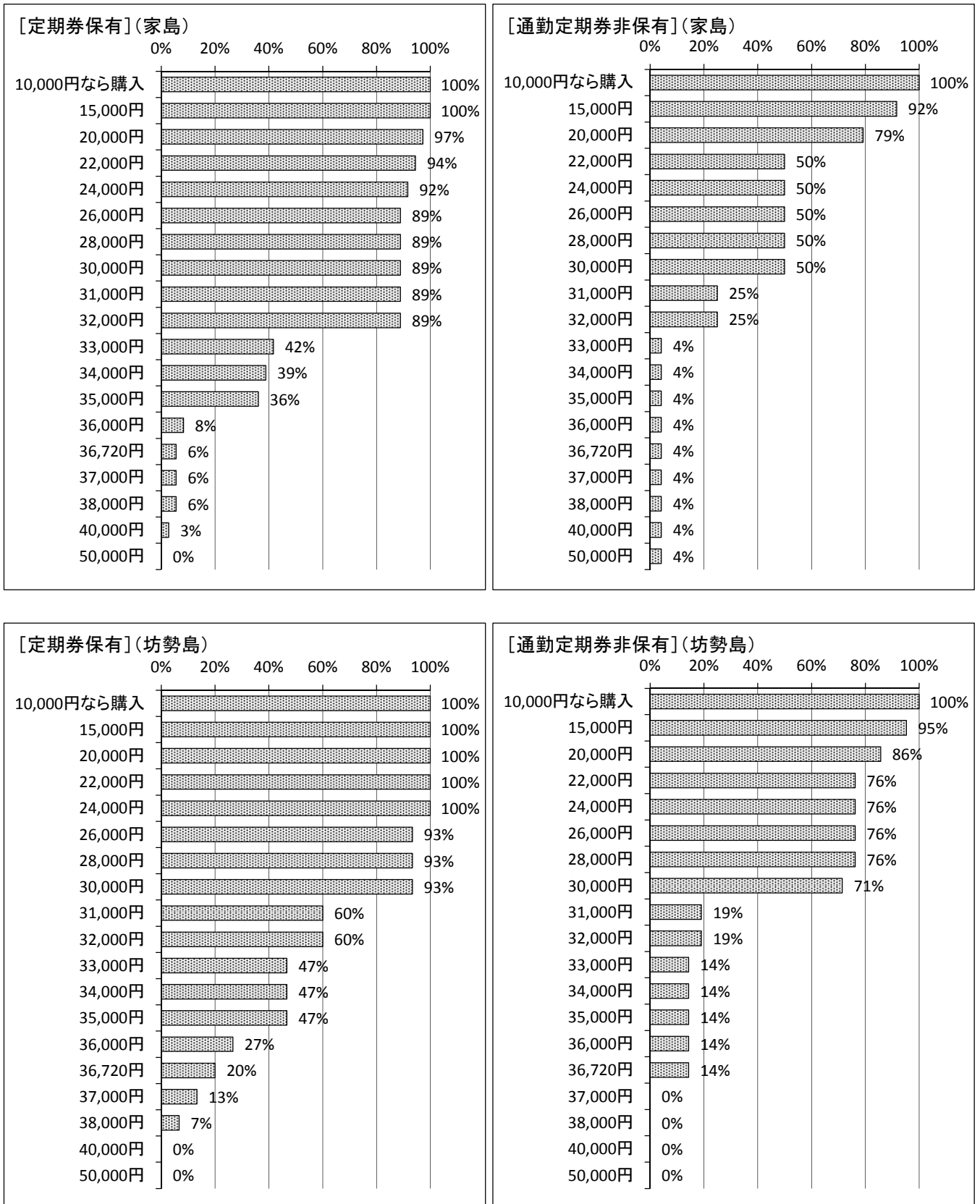


注：例えば、22,000 円・77%との表記は、回答者の 77%が 22,000 円以上支払っても良いと回答した（22,000 円なら回答者の 77%が購入する）ことを意味する。

定期券または回数券の保有者がいる世帯を対象。

- ・通勤定期券の保有世帯／非保有世帯に区分すると、家島の通勤定期券保有者がいる世帯では、現在の姫路～家島の定期運賃（32,000 円）なら 89%が共通定期券を購入してもよいと回答し、35,000 円でも 36%が購入してもよいとしている。ただし、35,000 円を超えると購入してもよいとの回答は 8%程度以下となる。
- ・姫路までの通勤定期運賃が 30,000 円または 36,720 円の坊勢島の通勤定期保有者がいる世帯では、30,000 円なら 93%が共通定期券を購入してもよいと回答し、35,000 円では 47%、36,720 円では 20%が購入してもよいとしている。
- ・すなわち、通勤の共通定期券に対し、定期券保有世帯の多くは現状の定期運賃並みであれば共通定期券を購入するが、それを超えても購入するのは 35～45%程度にとどまる。共通定期券を購入するという上限は 35,000 円程度と考えられる。
- ・定期券非保有世帯（回数券利用者のいる世帯）の場合、家島では 20,000 円までなら 73%、30,000 円では 50%が共通回数券を購入してもよいと回答しており、32,000 円でも 25%が購入してもよいとしている。それを超えても購入するとの回答は 4%（1名）だけである。
- ・坊勢島では、30,000 円でなら 71%が共通定期券を購入してもよいとしているが、それを超えると 19%に減少する。
- ・定期券非保有者は定期券利用者ほど利用頻度が多くなく、回数券の方が有利なケースが多いと想定され、そのため共通定期券に対する支払意思額が低いものと推察される。そのためか、現行の定期運賃を超えてまで共通定期券を購入するとの回答は、定期非保有者の場合、限定的である。

図-29 地域別・定期券保有有無別・共通定期券（通勤）に対する支払意思額

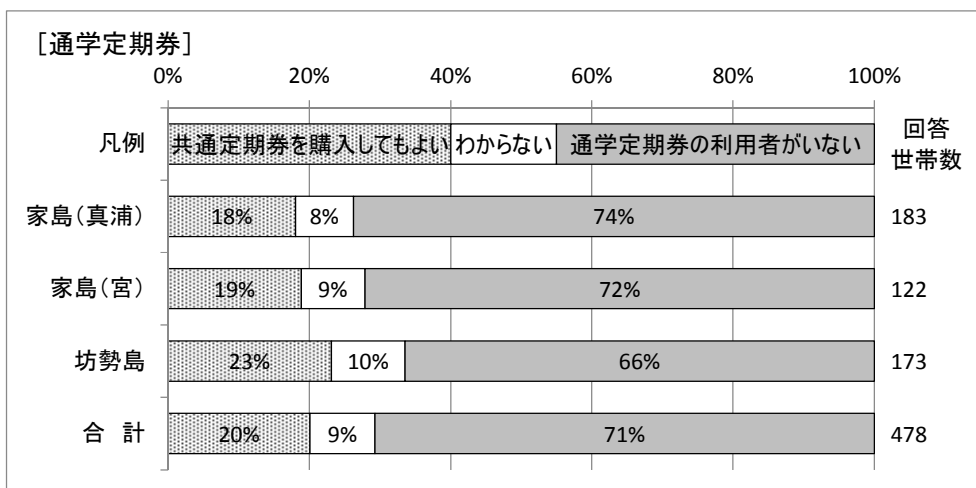


注：定期券または回数券の保有者がいる世帯を対象。

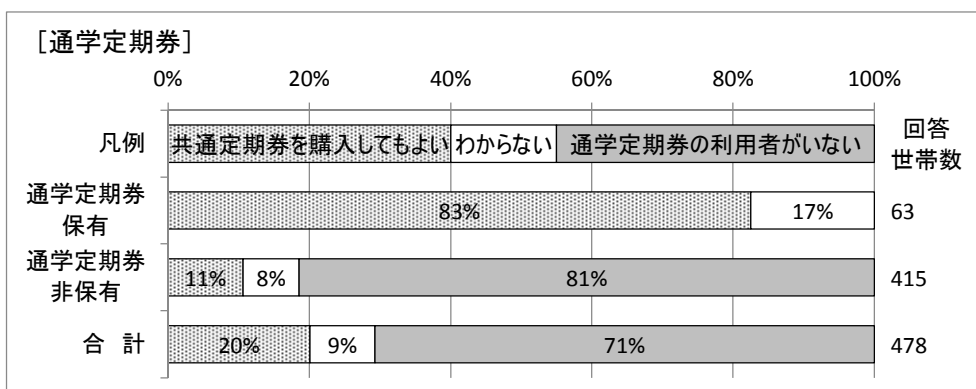
③ 共通定期券（通学）の購入意向

- ・通学定期券についても通勤と同様の視点から整理すると、通学の共通定期券が発行された場合、購入してもよいと回答したのは、定期券または回数券を保有している世帯の20%であった。わからないとの回答は9%であり、71%は通勤定期券の利用者がいないので判断できないとの回答であった。
- ・通学定期券を保有している世帯と保有していない世帯に区分したところ、通学定期券を保有している世帯の83%は共通定期券を購入してもよいと回答した。一方、通学定期券を保有していない世帯では、共通定期券を購入しても良いとの回答は11%に留まった。

図－30 地区別・共通定期券（通学）の購入意向



図－31 定期券保有有無別・共通定期券（通学）の購入意向

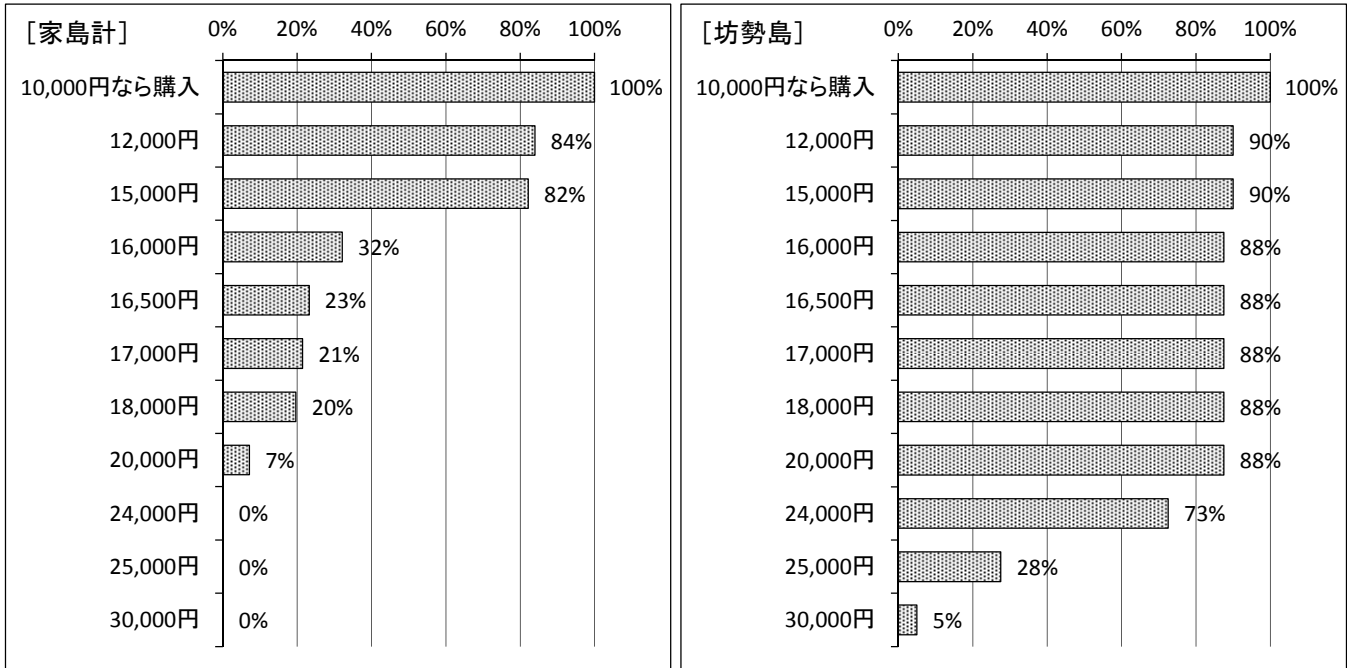


注：いずれも定期券または回数券の保有者がいる世帯を対象。

④ 共通定期券（通学）に対する支払意思額

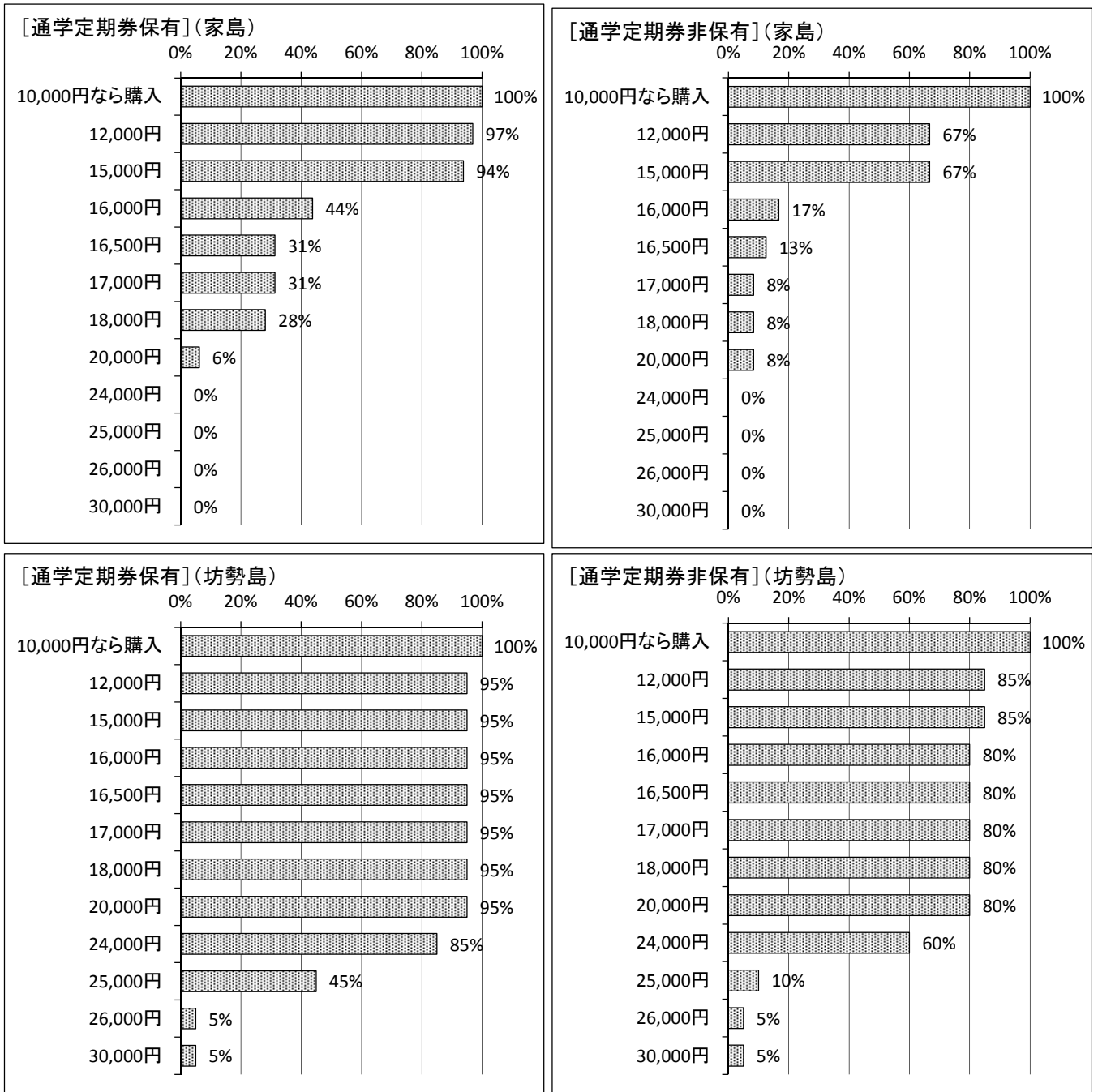
- ・ 共通の通学定期券が発行された場合の支払意思額を見ると、家島、坊勢島ともに現在の通学定期運賃（家島～姫路：15,000円、坊勢島～姫路：24,000円）であれば80%程度が購入してもよいと回答しているが、それを上回ると購入してもよいとの回答は激減する。

図-32 地区別・共通定期券（通学）に対する支払意思額



- ・ 通学定期券の保有世帯／非保有世帯に区分すると、家島の通学定期券保有世帯では、現在の姫路～家島の定期運賃（15,000円＝高福ライナー）なら94%が共通定期券を購入してもよいと回答し、16,000円（高速いえしまの通学定期運賃）なら44%、18,000円でも28%が購入してもよいとしている。18,000円を超えても購入するとの回答はごくわずかである。
- ・ 姫路までの通学定期運賃が24,000円の坊勢島の通学定期券保有世帯では、24,000円なら85%が共通定期券を購入してもよいと回答し、25,000円では45%が購入してもよいとしている。しかし、それを上回ると購入してもよいとの回答は5%となる。
- ・ 通学定期券非保有世帯の場合、家島では15,000円までなら67%が共通回数券を購入してもよいと回答しているが、16,000円で17%まで減少する。
- ・ 坊勢島では、20,000円までなら80%、24,000円でも60%が共通定期券を購入してもよいとしているが、それを超えると10%以下に減少する。
- ・ 通勤定期券と同様、現在通学定期券を持たない世帯では、共通定期券に対する支払意思額が定期券保有世帯よりも低い。

図-33 定期券保有有無別・共通定期券（通学）に対する支払意思額

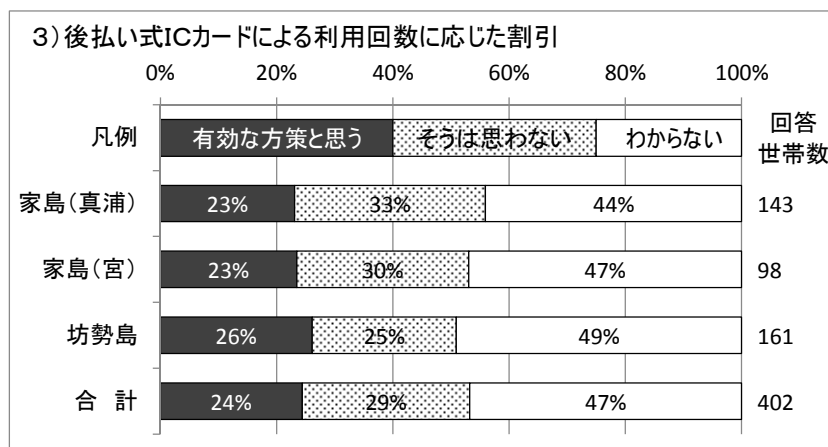
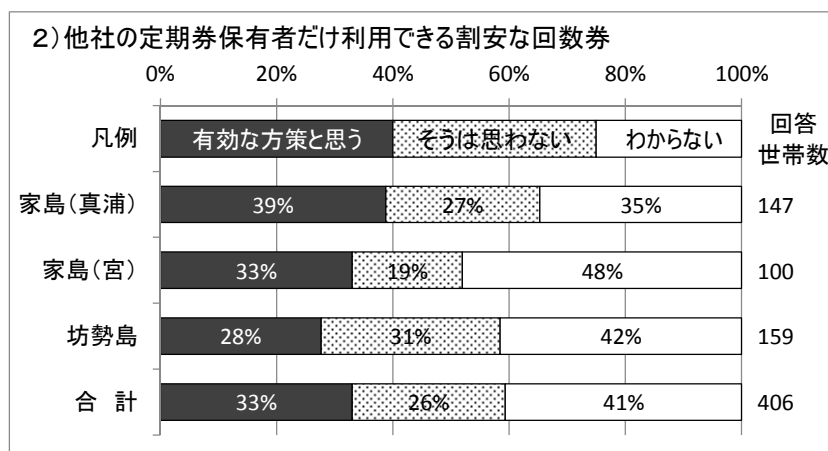
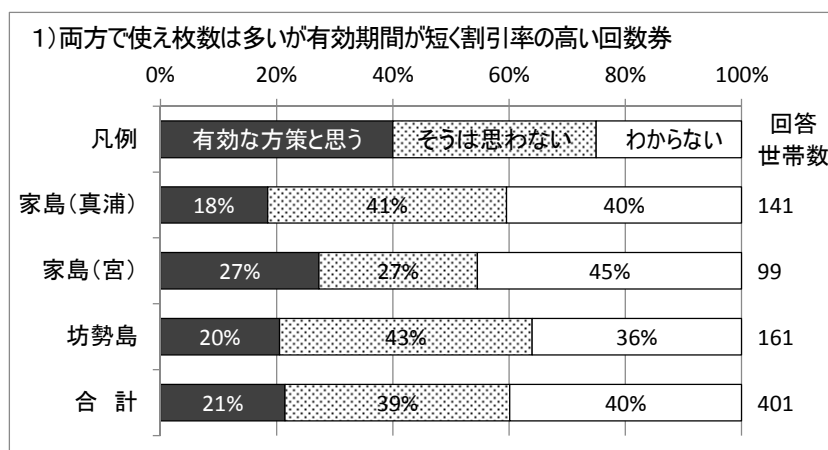


注：定期券または回数券の保有者がいる世帯を対象

(4) 共通定期券に代わる方法について

- ・共通定期券の導入には課題もあるため、共通定期券に代わる方法を提示し、有効な方策と思うかどうかを尋ねたところ、「他社の定期券を持っている人だけ利用できる割安な回数券の導入」について全体の33%、「後払い式のICカードによる利用回数に応じた割引」について24%、「両方の船で使え、枚数が多いが有効期間が短く、割引率の高い回数券の購入」について21%が有効な方策だと思うと回答した。
- ・地域による回答率に著しい差は見られなかった。

図-34 地区別・共通定期券に代わる方法への賛否



(5) 家島諸島航路の利便性向上のための方法

家島諸島航路の利便性向上のための方法について、日頃から考えている点について自由な記述を求めたところ、351 世帯から回答があった。意見を分類するとともに、意見を述べた世帯の居住地、定期往路の利用人数、定期券・回数券の保有状況を付して、巻末の参考資料に示す。

意見の全体を概観したところ、

- ・ 共通定期券の導入について、具体的な事例を挙げて必要性を記述する意見が見られるなど、必要性や有効性を訴える意見が多数見られた。
- ・ 共通定期券のみならず、共通回数券の導入を求める意見が多く見られた。定期券の保有者がいる世帯は全体の 14%しかなく、回数券を保有する世帯が 80%に及ぶことがその背景にあると考えられる。
- ・ 運賃の低廉化に対する意見が数多く見られた。
- ・ ダイヤについても具体的な意見が多数寄せられ、姫路港での路線バスとの接続の改善を求める意見も多数見られた。
- ・ その他、航路事業者を一本化して補助金を獲得するなど、家島諸島航路の運営に関する意見なども寄せられた。

(6) 調査結果のまとめ

家島・坊勢島の住民を対象としたアンケート調査では、真浦 482 世帯、宮 326 世帯、坊勢島 377 世帯、合わせて 1,185 世帯から回答を得た。得られた知見を以下に列挙する。

<定期券・回数券の保有について>

- ・姫路～家島または姫路～坊勢島の通勤定期券または通学定期券を持っている世帯は、全体の 14%であった。地域別には真浦 14%、宮 11%、坊勢島 18%であった。
- ・姫路～家島間では高速いえしま、姫路～坊勢島間では坊勢汽船の定期券を保有する世帯の方がそれぞれ高福ライナー、輝観光よりも多かった。
- ・回数券を持っている世帯は全体の 80%であり、地域別には真浦 79%、宮 70%、坊勢島 90%であった。
- ・このように、定期券を持っている世帯は 11～18%であるが、回数券を持っている世帯は 70～90%であり、回数券を持っている世帯の方が数倍多い。

<定期券が通用しない船の利用について>

- ・家島諸島から通勤・通学で姫路に行く際、93%の世帯が定期券の通用する船を利用すると回答した。私用で姫路に行く場合は 91%であった。
- ・また、勤務先や学校から家島諸島に帰る際、88%の世帯では定期券の通用する船の姫路港出航時刻に合わせて帰ると回答した。
- ・勤務先や学校から帰る際、定期券が通用する・しないに関わらず、姫路港で最初に出航する船を利用するとするとの回答は 24%であった。
- ・月間に定期券が通用しない船を利用する頻度は、平均 3.0 回であった。
- ・全体の 48%の世帯では、定期券が通用しない船を利用するため、常に回数券を持っている。

<共通定期券の購入について>

- ・通勤定期券を持っている世帯の 78%、通学定期券を持っている世帯の 83%が共通定期券が導入された場合に購入しても良いと回答した。
- ・通勤定期券、通学定期券を持っている世帯では、現在の定期運賃と同程度ならば、90～95%程度が共通定期券を購入すると回答したが、現在の定期券運賃を上回るとその割合は 40～60%程度に減少し、現在の定期運賃よりも 3,000 円程度高くなると購入してもよいとする回答は激減した。
- ・定期券を持っていない世帯では、定期券を持っている世帯よりも共通定期券に対する支払意思額が低かった。

<共通定期券に代わる方法>

- ・共通定期券に代わる方法を3つ提示して賛否を問うたところ、いずれも有効な方法と思うが全体の20～30%余り、そうは思わないが25～40%程度となった。
- ・その中で、「他社の定期券保有者だけが利用できる割安な回数券の導入」について、有効な方法であるとの回答割合がそうは思わないよりも多かった。

<家島諸島航路の利便性向上策>

- ・家島諸島航路の利便性向上策に関する自由意見について、アンケートに回答した1,229世帯の約29%に相当する351世帯から何らかの記述があった。
- ・共通定期券の導入について、具体的な事例を挙げて必要性を記述する意見が見られるなど、必要性や有効性を訴える意見が多数見られた。
- ・定期券の保有世帯（14%）より回数券を保有する世帯（80%）の方が多いためか、共通定期券のみならず、共通回数券の導入を求める意見が多く見られた。
- ・また、運賃の低廉化に対する意見が数多く見られた。
- ・ダイヤについても具体的な意見が多数寄せられ、姫路港での路線バスとの接続の改善を求める意見も多数見られた。